

私は月

雫を降らせ

涙の心をぬぐい去る

私は月

月のルナ

凍てつく夜のその肌を

包んで私は、空、戻る

あなたも一緒にいかがですか？

あなたの心も凍てつくなら

私の雫で解かしましょう

私は月


月のルナ

装帧 / 牧野奈緒

# ルナ Luna

文●日本流奈  
絵●葉 祥明





深い水の底まで通る声。

心の奥の遠い記憶を呼び覚ます。

青く、いいえ、水色。

透き通って、遠く、遠く、宇宙まで。

星々の里、眠る子らを揺り起こす。

さらさら、ゆらゆら、呼び起こす。

静かに、そっと、揺り起こす。

おはよう。

目覚めはいかが。

細胞たちは起きましたか。

ゆっくり、急いで、起きましょう。



以前、ルナんちは、  
私を無視してパパとママがよくけんかしてた。  
でも翌日は仲良しなの。  
おかしいネ。  
で、もうほっとくことにしたの。

でネ、よーくけんかの内容を聴いていると、  
「寂しいから愛して」って言うだけな気がするの、  
ウチの親の場合は。  
なんていうか、  
相手 つまりママにとってのパパだけど に  
「こっち見てヨー」って言うてるの、心の底で。  
でもって、パパは鈍感だからそのことに気づかない。  
で、そのことじゃないとこでけんかしてるの。

おもしろいのは、二人とも責めてないの、よく聴いていると。  
ママは「自分のわがままだ」って把握してるし、  
ただ「こうなっちゃう自分にしないで」って、  
その手段をパパに提案しているだけなの。



失敗って恥ずかしいことなのかナァ？

失敗ってダメなことなのかナァ？

ネェネェ、どうしてダメなの？

どうしてヤなの？

できなかったことでしょ、失敗って？

できないって、そんなにいけないのかナァ？

私はお話もできない、腹這いもうまくできない。

私って世の中でいう失敗作ってことよネェ。

でも私、それで自分がいけないとかダメって全然思っていないの。

だって、できないことっていうのは、

できることの始まりでしょ？

また、できたことでも、年をとるにつれ、

みんなできなくなってくる。

病気の人はそれが少し早く進むだけ。

だから、できないことは、失敗することは

何も悪いことはないって気がする。

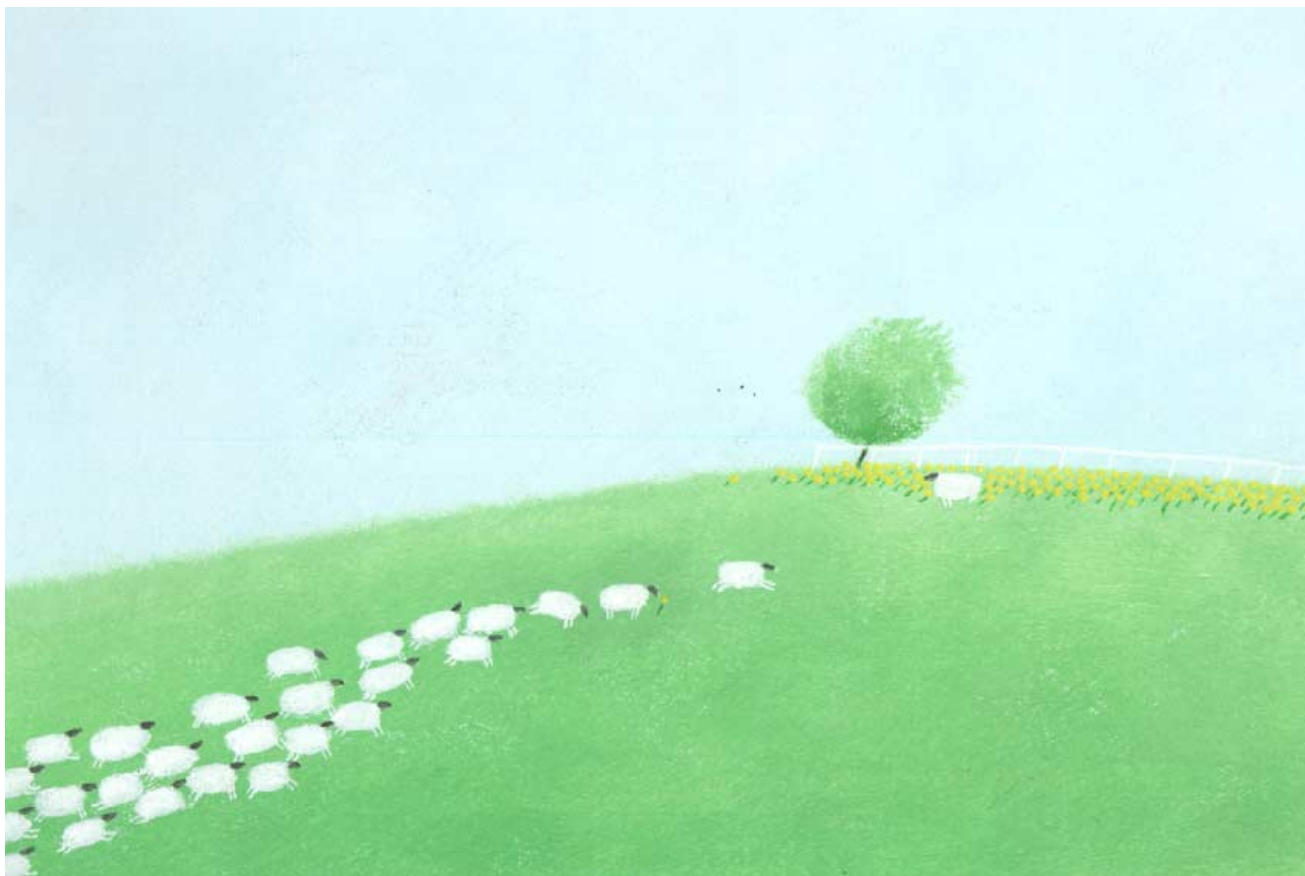
ホント、失敗は成功の始まりよネ。

失敗は、ただ自分がどれだけのことが今でき、

どれだけのことが今できないか把握するための

指針でしかないって気がする。

できないことは、自分を発見できる、すごく祝福された贈り物だネ。



あのネ、怒りってエネルギーでしょ。

爆発するものでしょ。

キュッと押し込めてしまったボールが

パーンって破裂するのよネエ。

だから、どうせなら

思いっきりエネルギーを出してしまっちゃあダメなの？

だって、破裂できないでいたら苦しいヨ。

ルナンちのママはネ、パパとけんかしては爆発させてるヨ。

でもネ、爆発したあと、とっても優しくなるヨ。

爆発前が長いとけっこう被害を被るのよネ。

すぐに出してさっさと戻る。

これにつきるよネ、きっと。

そんな感情ない人いないんだから、

パンパンパーンってのはじかせちゃおう。

そしてネ、被害を与えた人にはネ、ゴメンねって言うの。

私のママはいつもそうしてくれるから、ちっともつらくないヨ。

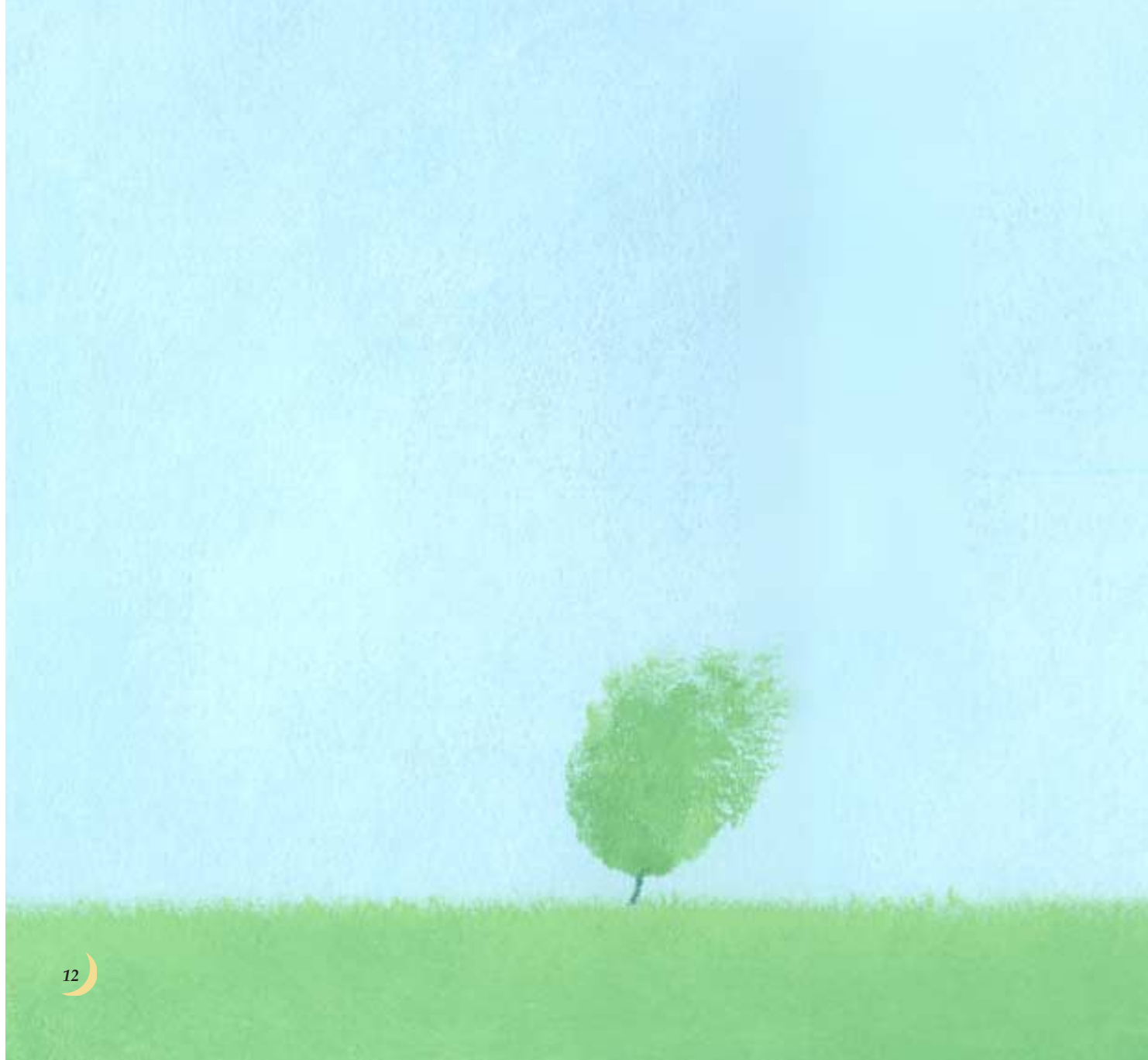
大丈夫だよ、怒っちゃっても。

でもネ、一つだけルールがあるのヨ。

ルナンちではネ、笑わされたら怒るのやめなきゃならないの。

それでおしまいネ。





んー、悲しいときは泣くだけ。

私のリハビリプログラムはすごく大変なの。  
だから、新しいのが入ると  
全身全霊をあげて泣いちゃうの。  
でもネ、そのイヤ～な厄介な部分が終わったら  
すぐ忘れちゃうのネ。  
だって、楽しいことが  
いっぱい待っているんだもの。  
ボランティアさんとの会話、ママのキス、  
パパのバカ話。  
なんてゆかいなんですよ。  
だからすぐ忘れちゃうの。  
だって、楽しいこのときをいっぱいになりたいから、  
時間がもったいないでしょ、  
悲しんでばかりいたら。  
だから凝縮して、  
その時間はできるだけ短くしちゃうのよ。  
そのためにも出し惜しみはしないの。

「泣いた子がすぐ笑った」って言われるけど、  
それじゃあダメなの？  
いいじゃん、ゆかいなほうが。

人生、楽しいんだから、  
やっぱりためないで発散する。  
憎しみと同じで、感情ってエネルギーだから、  
負の部分の処理に困ったら  
爆発させるっきゃあないって、やっぱり。  
負の部分は出し切ったら忘れちゃう。  
忘れようとしなくても、  
全部出してしまおうと忘れてしまうもんなのよ。

私は一日に何度もそういうことがあるけど、  
人により、その悲しみが一日だったり、  
一週間だったり、一年だったり。  
でも、永遠にってことはないでしょ。  
早くたくさん出したほうがお得な気がする。  
あとで「泣いてたくせに」って言われても  
気にしちゃいけないってことがコツね。



不安というのは、失敗を恐れているからとか、  
これから先を悲観的にしか思えないから  
起きるのよネエ。

でもネ、たとえば、地球がこんなに汚れてしまっ  
て

大丈夫かナァ～って心配するでしょ。

心配してもいいのよ。

だって、酸性雨や森林伐採など、  
環境破壊はどんどん進んでいるんだから、  
心配しない人のほうがおかしい。

でも、ただ心配しても始まらない。

不安になる人ってというのは、  
その不安なことについて、知識だけがあって、  
自分で何もしようとしないから  
不安になっちゃうのかナ、  
なんて思う。  
やっても不安な人もいるけど。

で、やれることやって、心に強く念じるの、  
「大丈夫、大丈夫」って。

で、その思いはやっぱりエネルギーで、  
大丈夫って念じながら、  
やれることやっている人がたくさん増えると、  
ホントに大丈夫になってしまう。  
どんな小さな出来事もそう。

究極、人って

苦しみや死や病気なんかを恐れるよネ。  
なってから考えればいいのに、  
その前に恐れたらつまんないと思う。  
もちろん、さっきも言ったけど、  
自分の状態をきちんと知って心配するなら  
対策を立てればいい、  
自分に対して。

不安のエネルギーも波及しちゃうから、  
大丈夫エネルギーで対抗しよう。  
「世の中、何一つ悪いことはない」てのが

迷ったら、

やっぱり交番のお巡りさんにきくしかないよね。  
交番で必ず地域に一つはあるよね。

じつは心の迷いをきく交番は  
自分の心の中にあるのよね。  
みんな気がつかないけど。  
もうみんな答えを持っているのに、  
周りの目や周りのことに言い訳して、  
自分の心を偽っちゃうのよね。  
なんでかっていわれたら、  
自分をよく見てもらいたいからなの。  
何をしたいのか、だれのためでもない、  
あなたはどうしたいのかってきいてみるの、  
自分の心に。  
そうしたらちゃんと答えてくれるヨ。  
おカネがないからとか、時間がないからとか、  
世間体とか、他人に迷惑かけるからとか、  
いっぱいあとから言い訳しちゃうでしょ。  
でも、素直に自分だけの心を見つめたら、  
ちゃんと自分はわかってる。

そして、そうすることは  
結果的にみんなにもいいことになる。  
だれもだれかのために何もできないし、  
されたくなんてないの。  
みんなしたいことすればいい。  
感謝も、したいからする。  
気持ちいい。  
それだけ。

だから迷うことはないの。  
だれにきかれなくても、  
自分の交番のお巡りさんが教えてくれるヨ、  
地図を片手に。

ホントは「何も迷わなくていい」ってのが答えネ。







世界中の魔法と宇宙の真法を集めてみましょう。

私の周りはみんな真法。

私のウチに来る人はみんなみんな、持ってる羽を隠してる。

でも私は見つけるの。

そしてポンポンと、隠れている羽に合図する。

私のウチを出るときはみんな宙を翔んでるの。

フワフワ、フワフワ、翔んでるの。

ホラ、みんな出し惜しみしないで、

隠さないで、これからも生きてくださいネ。

あれ？

でも、まだ気づいていない人がある。

自分の羽に気づいていない人がある。

困ったナ～。

奇跡はいつでもあなたのもの。

真法はいつでもあなたのもの。

だれもが起こせる楽しい世界。

夢見るだけでいい。

楽しむだけでいい。

ここはそういう世界なの。み～んな忘れてるけれど。


私はきょうもリモコンスイッチ、片手に携え、みんなの羽を引き出すの。

忙しくて、とっても楽しい。

み～んな天使。

世界は魔法、宇宙は<sup>まほう</sup>真法。





大丈夫  
気休めではなく  
大丈夫

あなたが思えば  
そっちのあなたも  
大丈夫  
こっちもあっちも  
大丈夫

あなたがたくさん  
増えたとき  
世の中すべて  
大丈夫







世界のために……

日本流奈くんは、特別な役目を持って、  
この世に生まれてきたように、私には思われます。  
現実には、大きなハンディキャップを有していますが、  
若い両親の大きな愛と  
二人を支える素晴らしい仲間たちによって、  
日いちにちと成長していています。  
そして、小さな流奈くんの身体に宿っている  
叡智に満ちた存在が、  
現代という不安な時代に生きる私たちに向けて、  
暖かい励ましや癒しの言葉の数々を  
送り出し続けています。  
それは今の世界のために必要なメッセージです。  
私たちは、それを不思議な現象として見るだけでなく、  
その内容を自分のこととして真剣に受け止め、  
自分の生き方や日常生活に反映させたいものです。

————— 葉 祥明

日木 流奈（ひき・るな）

1990年横浜生まれ。極小未熟児、先天性腹壁破裂として生まれた直後の手術のストレスから脳障害となる。92年、ドーマン法のプログラム開始。94年、グレン・ドーマン博士の人間能力開発研究所の診察を受ける。95年、文字盤によるコミュニケーションが可能となる。当初は、文字を指差す流奈くんに、それを解説するお母様と、一文の会話に一日がかりのこともあったが、いまでは熟練のワープロ入力者のようにふ



たりの会話は上達した。以来、流奈くんはご両親の愛に支えられ文字盤を指し示すことで多くのメッセージを発信している。著書『はじめてのことは』、『月のメッセージ』、『月のおくりもの』（大和出版）

流奈のホームページ <http://www2.odn.ne.jp/luna>

葉 祥明（よう・しょうめい）

1946年熊本市生まれ。90年、『風とひょう』で、ポローニャ国際児童図書展グラフィック賞受賞。91年、北鎌倉に「葉祥明美術館」を開館。95年、旧ユーゴの子ども達とのジョイント展（難民を助ける会主催）を開催。96年、難民を助ける会の地雷撤去キャンペーンに参加。『サニーのお願い 地雷ではなく花をください』を描く。画家としての感性でとらえた世の中に必要なメッセージを、絵本をはじめ、様々な活動に表現することで活躍中。日木流奈くんとのコラボレーションも、そこから発展した。